

# ネットワークアンケート ①

糖尿病ネットワークを通して

医療スタッフに聞きました

## Q. 糖尿病の民間療法について、 どのようなスタンスで指導していますか？

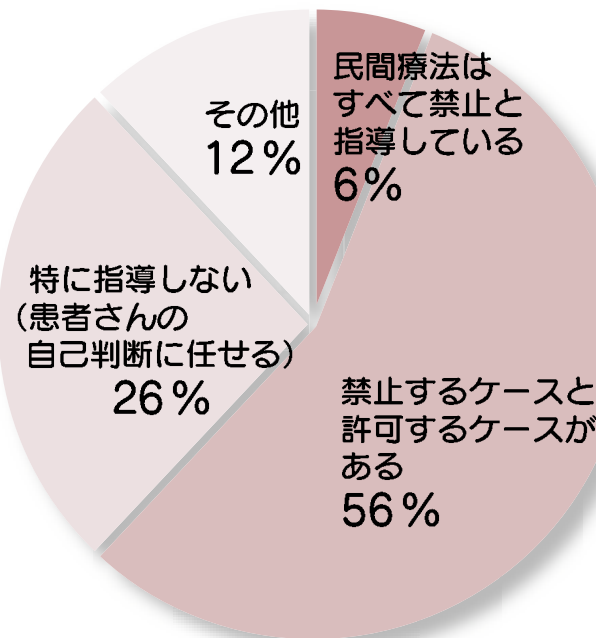
このコーナーでは、ホームページ「糖尿病ネットワーク」のメール配信に登録されている方を対象にアンケートを実施し、その結果を紹介していきます。第1回のテーマは民間療法。「特定保健用食品などの表示のないものについて」という条件で回答いただきました。

〔回答数：医療スタッフ282（医師73、看護師54、管理栄養士44、その他111。うち糖尿病療養指導士62）、患者さんやその家族764（食事療法を行っている569、運動療法を行っている421、経口薬を服用している289、インスリン療法を行っている431。重複回答）〕

民間療法についての指導はケースバイケースという回答が半数強に上りました。ではどのようなときに許可するのかを聞くと「通院を続け服薬を守ること（医師）」、「コントロールが良好なこと（看護師）」、「高価でないこと（栄養士）」、「成分が明記されているもの（医師）」などを条件とするケースが目立ち、これらは「害がなければ効果はなくても気持ちのうえでプラス」（看護師・CDE）との考え方と共通するものといえそうです。

許可に注意が必要なケースとしては「腎症がある場合（管理栄養士ほか）」との回答が数件挙げられ、また薬剤師からの「投薬内容（GI）」と作用が重複するようなものは止めるように勧める」という回答も複数みられました。

一方『その他』の回答のなかには「民間療法を試したいと思う気持ちを探る（医師）」、「傾聴し（その治療法の）根拠について一緒に考える（看護師）」といった、民間療法の問題を契機に患者さんの内面に一歩踏み込んだ療養指導を試みようとする例や、「禁止しても患者はやる（臨床検査技師・CDE）」という声がありました。



### Q. 貴院を通院中の糖尿病患者さんのうち、民間療法を行っている患者さんはどのくらいいると思いますか？

n = 278

20%未満	30%
20～39%	33%
40～59%	27%
60～79%	8%
80%以上	2%

「20～39%の通院患者さんが民間療法を行っているのではないかと」の予測が最も多いという結果で、これは患者さんへのアンケートで得られた、民間療法の経験ありが25%という結果（右ページ参照）とおおむね一致します。

### Q. 民間療法を行っている（行おうとしている）糖尿病患者さんのうち、どの程度の患者さんが医師や看護師に報告・相談してくると思いますか？

n = 279

20%未満	54%
20～39%	24%
40～59%	17%
60～79%	4%
80%以上	1%

20%未満との回答が過半数を占め、医療スタッフは、こと民間療法については患者さんとの意思疎通が難しいと考えているようです。

#### 相談を受けた中で特に危険を感じたもの……

断食療法、SU薬入りの漢方薬、はちみつやローヤルゼリーで高血糖になる、インスリンを止めてしまう、コントロール不良のまま民間療法を始める、利尿薬と思われるやせ薬、下痢を伴う民間療法、サウナスーツを着て運動、カリウム制限患者の青汁飲用、腎不全患者の飲水療法、食事が極端に偏っている、電気治療、1リットル千円の水、ほか。